



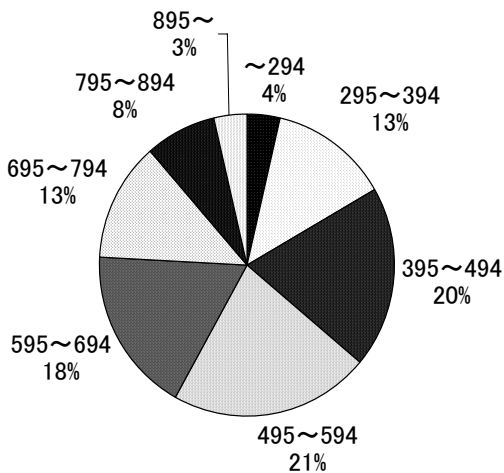
有限会社 茅ヶ崎方式英語会 102-0073 東京都千代田区九段北1-6-6 カサイビル I  
 Tel/Fax 03-3288-2770 <http://www.chigasakieigo.com/> e-mail: [info@chigasakieigo.com](mailto:info@chigasakieigo.com)

## 茅ヶ崎方式英語会 TOEICテスト結果のお知らせ

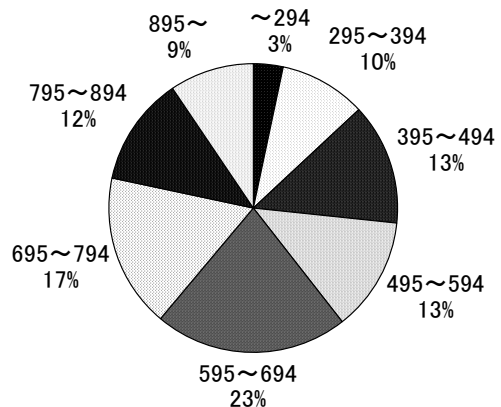
英語力を測る目安として、TOEICは英語学習者に広く受験されております。茅ヶ崎方式英語会では昨年、協力校の方々に教室で簡単に受けていただけるよう、団体として賛助会員になり、TOEIC IPテスト実施団体となりました。第1回・第2回テストをそれぞれ昨年11月と本年5月に実施しました。その結果がこのほどまとまりましたのでここにお知らせします。

	参加校	受験者数	平均点	最高点
第1回	17校	138	619.2	975
第2回	17校	129	636.2	975
	(公開テスト全国平均)		569	最高点 990)

### TOEIC成績(全国第123回)



### TOEIC成績(茅ヶ崎方式1,2回平均)



茅ヶ崎方式で英語を学習されている皆さんの英語力は、全国公開テスト平均に比べて、格段に高いことが明らかとなりました。最高得点グループ(895点以上)の割合は全国平均の3倍近いこと、また、795点台から上の得点者のパーセンテージは平均より高く(公開テスト平均11.5%に対して英語会は21.7%)、低得点層(600点未満)は全国平均より低い(公開テスト平均58.4%に対して英語会は39.3%)という結果が出ました。✦

◆茅ヶ崎方式の学習効果は、TOEIC の点が上がったとか、英検 1 級にパスしたなどの報告や感想として、教室で度々聞かれていることと思いますが、それが数字でも証明されたわけです。

語学の力を伸ばすには継続が大切です。TOEIC を定期的を受験して、ご自分の英語力の伸びを確認してはいかがでしょうか。TOEIC テストは英語力を測る 1 つの目安にもなります。

今年も 11 月に第 3 回 I P テストを実施します。

## ～ 最近のハワイ事情 ～

津田沼校、佐倉校代表 勝山ひとみ

この数年、英語教育学会での発表や海外学校視察の為に、海外に出張する機会が増えている。もちろん、そのたびに、茅ヶ崎方式で鍛えてきた英語力が役に立っていてくれて、どの国でもコミュニケーション出来る喜びを感じている。本当に茅ヶ崎方式により人生が豊かになったことに感謝をしている。

今回は、2 週間に渡り、ハワイの小学校視察と観光を夏休みを使い行ってきた。ハワイの小学校は私が到着した 7 月 31 日に新学期が始まった。アメリカは移民の国なので、海外からの生徒の受け入れ対策がしっかりしていて、英語の授業の時は、英語がまだ不十分な生徒は特別なクラス (ESL クラス) へ移動する。大体、平均で 2~3 年そのような形をとり、通常授業についていけるようになれば、テストに合格後、ESL は卒業になる。今回の視察で特に「移住前に塾や英会話教室で準備をしていた生徒は、他の生徒よりも特別クラス終了が早い。」という ESL 担当の先生のお話が印象的だった。つまり、それだけ両親が教育に配慮をしている環境の生徒は、英語の上達が早いということだと思う。改めて、教師だけでなく家庭環境の大切さを感じた。

18 年ぶりのハワイは驚く事が多かった。先ず、物価が高い。Dole が倒産し、パイナップルやサトウキビ畑は激減し、観光が唯一の重要産業になっている。賃金はアメリカ本土に比べ、低い。アメリカ本土からの観光客は増えているものの、日本からの観光客は前年比 10% 前後減っている。アメリカ本土からの観光客が増えている為に、全体では 2% のアップだが、日本人は 1 日に \$270 を使うのに比べ、他からの観光客は \$175 しか使わない為、日本人観光客の減少は痛手ようだ。

地元紙には、燃料費の高騰、日本からの定期便の座席数減少、アメリカ人よりホテルの予約が遅いので、ホテルがとりにくいなどの理由を挙げている。しかし、アジア各国がホテルなどの観光施設を充実させており、しかも安価。それに比べ、ハワイの施設は古くなりがちで、すべてが高い。デイケア (保育所) の子供達と水族館見学の後に行った Zippy というファーストフードレストランでは、一人千円位になったのには、驚いた。日本なら五百円位なら我慢して食べるような内容だった。

今回も他の国同様に、地元の友人達の世話になり、小学校視察や観光に楽しい思い出がいっぱい出来た充実した旅行であった。中国、韓国、フィリピン、アメリカ、イギリス、オーストラリアなど、どこでも人は温かく、精一杯もてなしてくれる。帰りの飛行機はロンドンでのテロ計画発覚の影響があったが、同じ人間なのに、どこか間違えと憎しみ合いが生まれる。本当に残念なことに思う。英語をコミュニケーション手段として多くの人々が交流をする事により、平和を築きたいと願って止まない。



「ESL 担当の先生方と」

## 《中村橋校》

東京都練馬区

代表 上戸 昌子

私が茅ヶ崎方式を知ったきっかけをお話ししましょう。

英会話スクール開校の準備をしている時に以前某英会話スクールで共にスクールマネージャーをしていた元同僚と再会したことからでした。私がニュースを用いてディクテーションの教材を作っていることを考えていると話したら、ちょうどその彼女が茅ヶ崎方式を受講していて、その内容がまさに私の作りたい教材そのものと知り、さっそく翌日協力校の申し込みをしたのでした。いろいろな勉強法を試して来た私は、学生時代にパブリックスピーキングという授業を取ったことがあり、それが一番私の聴く力を伸ばしたとその頃思い出していました。その授業とは、ニュースの英語をひたすら書き取ることでした。ノーマルスピードもスロースピードもなくとにかく本番のニュース英語でした。もちろん最初から書き取れる訳でなく、しかし週一回続けたおかげでいつのまにか聴きとれなかった冠詞や接続詞、そして単語の語尾までがしっかり聴けるようになっていたのです。その時の感動は今でも覚えています。同時に子音の発音の大切さも知り、後に英語教育に随分役立ちました。また発音を聴いただけで辞書で単語を調べられスプリング力も養われました。ずっと続けていればよかったと数十年経った今、後悔しています。アメリカ生活を経験した私ができることは、ニュースはパーティでの話題にも大いに役立つと確信しています。私たちは話したい話題を持たないのでついつい無口になってしまいがちですがこの茅ヶ崎方式は一石二鳥、いや三鳥、四鳥と言えるでしょう。忙しさに追われて自身は、サボりがちですがまた始めようと思っている今日この頃です。

## 📎 学習者の声 📎

中村橋校

C2会員 高三

奥長 めぐみ

私が茅ヶ崎方式を始めたのは今から約二年前の、高校一年生の夏でした。幼い頃から英語を習っていた私にとって、英語を勉強することは苦ではありませんでした。しかし私は英語が大好きで得意だったけど、自分の英語力に自信はありませんでした。

「自信をもって英語を自由に使えたら…」

そう考えていた時、ある日茅ヶ崎方式のレッスンを受けてみないかと英会話スクールの先生が声をかけてくれました。私は、何かのチャンスかもしれないと思い、C1から始めることにしました。初級なのでできると簡単なのだろうと思って始めてみると、聞いたことがある単語のはずなのに聞き取れなかったり書き取れなかったりして、思っていたよりも難しいものでした。私の自信はどんどんなくなる一方で、自分の英語力はまだまだだと実感しました。

しかしだんだん日が経つにつれて耳も慣れていき、レッスンをこなせるようになっていきました。初めのころの自分とはまるで別人のように、リスニング力や単語力、そして集中力がつき、もちろん、自信をもてるようにもなりました。

それからの私は、自分で発音の勉強をしたりして、さらにレベルアップできるように努力を続けました。やはり努力は実るものです。茅ヶ崎方式で培ったリスニング力や単語力、集中力は英語の成績だけではなく、英検二級の合格といった成果にもつながったのです。そして何とんでも、自分の英語力に自信をもてたことで、英語をもっともっと好きになれました。

英語に対してもっと欲がでてきた私は、高二的春にC2にチャレンジすることを決意し、今でも続けています。

今、私は英語が楽しくてしかたありません。こんなふうに思えるのも、茅ヶ崎方式や先生方のおかげだと思います。茅ヶ崎方式は英語が上達するだけでなく、英語の楽しさや、努力することのすばらしさを教えてくれるすばらしいレッスンです。そんな茅ヶ崎方式をこれからも続け、自分の英語力をさらに上げられるよう、がんばっていきたいと思います。

『いい教材があるよ』と通訳勉強仲間から紹介されたあの運命の日から早 10 年。勉強会スタイルで 8 名からスタートした梅田校と、私自身の decade は茅ヶ崎方式なしには語れません。自分の英語のブラッシュアップに役に立ちそうだという自分本位な理由から申し込んだ協力校でしたが、忙しい時間と財布をやりくりして参加して下さるメンバーの事を思うと準備には思わず力が入ります。最初の数年の間は、ワードテスト一語一語を辞書で調べ例文をまとめたり、LCT 解説のための資料を検索したりするうちに朝を向かえることもありました。一つの転機となったのは 6 年目。ニュース英語をより専門的に研究したいという願いが昂じ、大学院でジャーナリズムを専攻する事になった時です。毎日フル回転で孤軍奮闘してきた私でしたが、進学のために初めて別の講師にクラスを任せる事にしたのです。若干の心配もありましたが結果的には大正解でした。講師が増えることで、クラス数が増え、メンバー数も増え、梅田校に新たな色彩が加わり以前に増して活気づいたのです。大学院生兼茅ヶ崎方式梅田校代表講師の 2 年間は文字通り grueling(へトへトになる)でしたが、大学院で学術的に学んだ理論は、英語を教える実践の中で今も応用しています。『cover story の裏には、ニュースにならないもっと多くのストーリーが存在し、すべての物事は多面的な見方が出来る』という論は、私が様々なニュースに触れる際に常に感じる事であり、メンバーにも伝えていきたい私のこだわりです。英語能力だけではなく、メディアリテラシー能力を磨く事で、コミュニケーション能力×人間力を高める一助になりたいと思っています。

真面目なお話はさておき、英語以外のイベント（春はお花見、夏は花火大会、去年は愛知万博ツアーも！）の開催や、テニスクラブとゴルフクラブの存在も梅田校の特徴です。梅田校はなぜかアスレチック系英語好き(?)が多いようです。スポーツと語学はどちらも、コツコツ一人で練習する時間と、他の人と切磋琢磨する時間の両方の組み合わせで上達します。また『楽しく学んだ事は身に付く』事は最大の共通項ではないでしょうか。この “What we learn with pleasure we never forget.” は梅田校のモットーの一つです。これからも、講師 5 名 (native teacher 一人含む) で、楽しく学べる笑顔の絶えない機会を提供していきたいと思っています。

📖📖 学習者の声 📖📖

大阪梅田校

C 2 会員

永瀬 俊哉

「どうして英語を勉強しているの？」と問われて、ちゃんとした答えがある。理由ではありません。あえて言うなら「そこに梅田校があるから」ということでしょうか。

特に仕事で英語が必要なわけではありませんが、そこそこ自分の時間を持てるようになり、「何か始めよう！」と思い立ち、ひよんなことから茅ヶ崎メソッド、そして梅田校に出会いました。説明会に参加させて頂き、入会を即断したのを昨日のように覚えています。

とにかく、授業が楽しい。毎回楽しみにしています。LCT のヒアリングで聴き取れないところが出てくると、いろいろ頭の中の引き出しを探し回りまわってピッタリ来る表現をさがしますが、なかなか見つかりません。講師の先生はいろいろとヒントを出してくれます。ハッと気付いたときのあの感覚は本当に快感という感じです。丁度今話題の「アハ体験」をしているような気がします。

もう一つ私の楽しみは、授業で教えて頂いたことをノートに書き溜めていくことです。日本の新聞、ニュースでお馴染みの言葉・表現でも英語になると想像すら出来ない……。こんな経験皆さんにもおありかと思います。時事英語を題材にしている茅ヶ崎方式だからこそこういった言葉・表現に数多く接することが出来ます。これをノートに書き留める。このノートは私にとって、恰も残高の増えていく預金通帳のようなものなのです。帰りの電車の中で読み返してはニンマリしてしまいます。書き留めた表現を CNN や英字新聞で見つけたときはこれも「快感！」としか言いようがありません。最近では、海外のメディアを見ていてストレスを感じなくなってきているような気がします。楽しみながら勉強できる、そんな茅ヶ崎方式の素晴らしさを実感しているこの頃です。未永くお付き合いさせて頂きたいと思っています。

あとがき：偶然の出会いから茅ヶ崎方式を始めたという方も多いようです。会員の皆さんが楽しみながら、時には苦しみながら学習された結果が TOEIC テストにも反映されているとすれば嬉しい限りです。